



# 梅島小だより

## 『感謝の気持ちを伝える』

副校長 鯉沼 哲

間もなく立春を迎えますが、まだまだ寒い日が続いております。インフルエンザや風邪で休む児童も増えてきました。学校では、病気の感染予防のため、外から室内に戻る時は、手洗い・うがいを忘れずに行うことや、マスクを着用することなど、引き続き指導しております。

今回は、感謝の気持ちをしっかりと言葉で伝えることについて考えてみました。人は、他の人から自分のために特別なことをしてもらった時は、感謝の気持ちを「ありがとう」という言葉で素直に伝えることができます。しかし、自分のことを振り返ってみても、身近な人から、当たり前のことをしてもらった時は、感謝の気持ちを言葉で表すことは、つい忘れがちになってしまうように感じます。

先日、職員室に手紙を取りに来た1年生2名の児童が、手紙を渡された時に「ありがとうございました。」と気持ちのよい返事をしていました。何気ないやり取りでしたが、嬉しそうに教室に戻る姿を見て、とても感動しました。人に感謝する気持ちを表す姿は、見ている人や聞いている人を心地よい気持ちにさせるのだと思いました。

これから、「2分の1成人式（4年生）」「あしたへジャンプ（2年生）」「6年生を送る会（全校）」「謝恩会（6年生）」など、今までお世話になった家族や地域の方、友だちや先生方に感謝する気持ちを言葉にして伝える機会が多くあります。子どもたちが、自分の言葉で素直に感謝の気持ちを伝えられるように指導していきたいと思います。感謝される人も、感謝する人も、そして、その様子を見たり聞いたりした全ての人がとても気持ちのよい気分になれるそんな時間にしたいと思います。

保護者、地域の皆様には、日頃より梅島小学校の子どもたちのために、本校の教育活動に、ご支援、ご協力をいただきありがとうございます。今後も、よろしく願いいたします。